

在庫の考え方/ コスト削減の教科書

Index

- 1 在庫管理の考え方
 - 2 商品管理の優先順位を決める方法
 - 3 商品の在庫（販売）動向を判断する指標
 - 4 売上動向の予測
 - 5 適正在庫量の決定方法
 - 6 最も安い費用で仕入れる発注方法
-

1 在庫管理の考え方

在庫は、全ての商品を同じように管理することが理想的ですが、コストと労力の問題からそうもいきません。通常、売れ筋商品の在庫管理は徹底して行い、死に筋商品の在庫管理には最低限ということになります。

また、売れ筋・死に筋商品は変化するため、それに応じて適正な在庫量が変わります。適正在庫を実現してコスト削減するためには、在庫量などの変化をいち早くつかみ、仕入数量の変更、仕入停止など適切な対応が求められます。

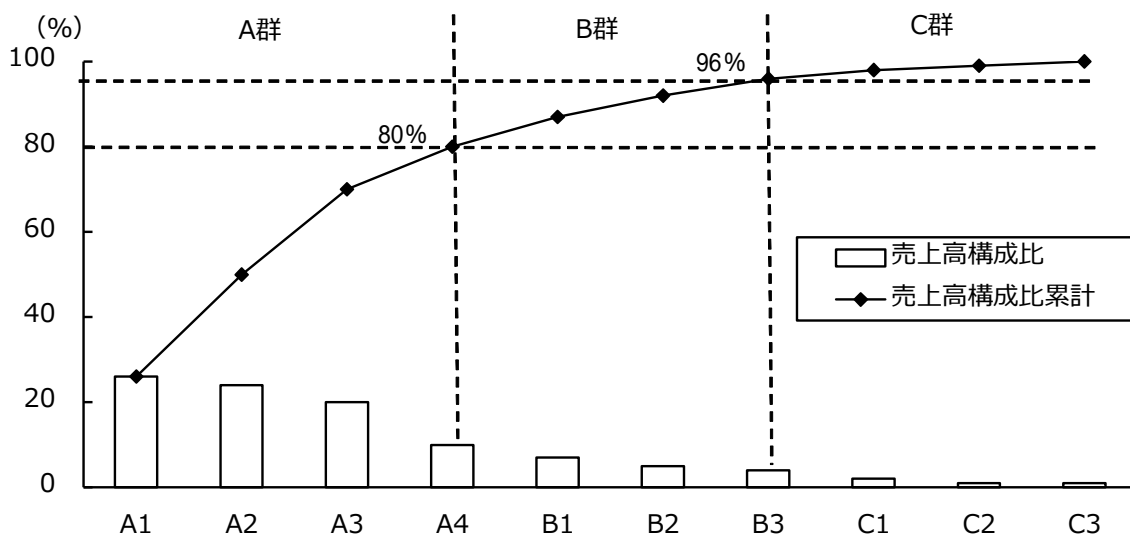
本稿では、在庫管理の具体的な手法として、適正在庫を実現するための「商品管理の優先順位を決める方法」「商品の在庫（販売）動向を判断する指標」を紹介します。

2 商品管理の優先順位を決める方法

1) 商品管理の優先順位を決めるABC分析

ABC分析は、在庫管理に関わる労力の優先順位の付け方です。商品を売上高への貢献度合いに応じてA・B・Cの3群に分類して、商品管理の優先順位を決めます。例えば、売上高の80%を占める商品群をA群、残り20%のうちの80%を占める商品群をB群（実質16% = $0.2 \times 0.8 \times 100$ ）、残り4%をC群とします。

（図表1）【ABC分析イメージ】



（出所：日本情報マート作成）

A1～A4の商品がA群、B1～B3の商品がB群、C1～C3の商品がC群です。A群の商品は売上高全体の80%を占める主力商品であり、最も重点的に管理します。B群の商品は、A群の商品に次ぐ商品として位置付け、A群の商品に次いで重点的に管理をします。

サンプルレポート

本レポートは、サクセスネットで公開している
ビジネスレポートの一部を公開したサンプルです。
サクセスネットサイトにログインした後、全文を
閲覧することができます。